

HSBC ブラジル債券 オープン(毎月決算型)

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年9月30日～2028年9月25日	
運用方針	ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にブラジル連邦共和国（「ブラジル」）の債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	HSBC ブラジル債券オープン(毎月決算型)	ブラジル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ブラジル債券マザーファンド	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	HSBC ブラジル債券オープン(毎月決算型)	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ブラジル債券マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年12回の決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第169期	（決算日	2022年10月25日）
第170期	（決算日	2022年11月25日）
第171期	（決算日	2022年12月26日）
第172期	（決算日	2023年1月25日）
第173期	（決算日	2023年2月27日）
第174期	（決算日	2023年3月27日）

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）」は、2023年3月27日に第174期の決算を行いましたので、第169期～第174期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

〈お問い合わせ先（投信営業本部）〉

電話番号：03-3548-5690

（営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp



○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		期中騰落率	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		税金 分	込 配				
	円		円	%	%	%	百万円
145期(2020年10月26日)	2,981		15	△ 3.9	97.5	—	14,556
146期(2020年11月25日)	3,080		15	3.8	97.6	—	14,790
147期(2020年12月25日)	3,236		15	5.6	96.7	—	15,149
148期(2021年1月25日)	3,010		15	△ 6.5	97.7	—	13,963
149期(2021年2月25日)	3,065		15	2.3	98.4	—	14,030
150期(2021年3月25日)	2,928		15	△ 4.0	98.4	—	13,249
151期(2021年4月26日)	3,013		15	3.4	97.4	—	13,419
152期(2021年5月25日)	3,084		15	2.9	97.0	—	13,527
153期(2021年6月25日)	3,415		15	11.2	96.6	—	14,720
154期(2021年7月26日)	3,200		15	△ 5.9	97.4	—	13,643
155期(2021年8月25日)	3,061		15	△ 3.9	98.1	—	12,953
156期(2021年9月27日)	3,012		15	△ 1.1	97.9	—	12,564
157期(2021年10月25日)	2,828		15	△ 5.6	97.3	—	11,651
158期(2021年11月25日)	2,878		15	2.3	96.0	—	11,555
159期(2021年12月27日)	2,886		15	0.8	96.3	—	11,196
160期(2022年1月25日)	2,947		15	2.6	99.6	—	11,305
161期(2022年2月25日)	3,201		15	9.1	98.8	—	12,134
162期(2022年3月25日)	3,569		15	12.0	98.0	—	13,354
163期(2022年4月25日)	3,769		15	6.0	96.2	—	13,612
164期(2022年5月25日)	3,703		15	△ 1.4	96.6	—	12,974
165期(2022年6月27日)	3,605		15	△ 2.2	96.3	—	12,224
166期(2022年7月25日)	3,460		15	△ 3.6	98.8	—	11,625
167期(2022年8月25日)	3,844		15	11.5	98.5	—	12,639
168期(2022年9月26日)	3,970		15	3.7	98.0	—	12,322
169期(2022年10月25日)	4,075		15	3.0	97.6	—	12,348
170期(2022年11月25日)	3,703		15	△ 8.8	97.0	—	11,061
171期(2022年12月26日)	3,694		15	0.2	96.7	—	11,017
172期(2023年1月25日)	3,670		15	△ 0.2	99.3	—	10,890
173期(2023年2月27日)	3,795		15	3.8	98.7	—	11,149
174期(2023年3月27日)	3,671		15	△ 2.9	98.3	—	10,719

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、動向きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第169期	(期 首) 2022年9月26日	円 3,970	% —		% 98.0	% —
	9月末	3,877	△2.3		97.3	—
	(期 末) 2022年10月25日	4,090	3.0		97.6	—
第170期	(期 首) 2022年10月25日	4,075	—		97.6	—
	10月末	4,068	△0.2		96.9	—
	(期 末) 2022年11月25日	3,718	△8.8		97.0	—
第171期	(期 首) 2022年11月25日	3,703	—		97.0	—
	11月末	3,755	1.4		96.8	—
	(期 末) 2022年12月26日	3,709	0.2		96.7	—
第172期	(期 首) 2022年12月26日	3,694	—		96.7	—
	12月末	3,633	△1.7		96.3	—
	(期 末) 2023年1月25日	3,685	△0.2		99.3	—
第173期	(期 首) 2023年1月25日	3,670	—		99.3	—
	1月末	3,686	0.4		98.6	—
	(期 末) 2023年2月27日	3,810	3.8		98.7	—
第174期	(期 首) 2023年2月27日	3,795	—		98.7	—
	2月末	3,813	0.5		98.7	—
	(期 末) 2023年3月27日	3,686	△2.9		98.3	—

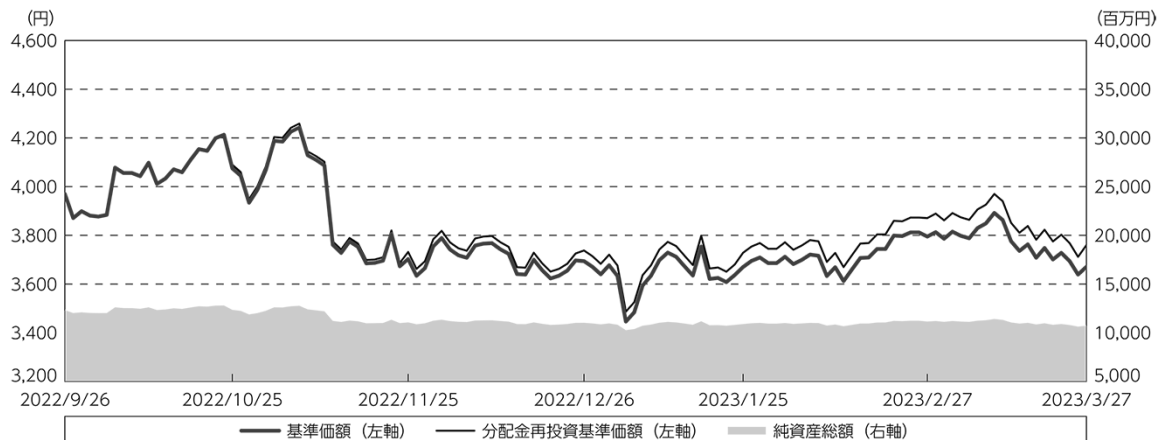
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○ 当作成期の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について（第169期～第174期：2022年9月27日～2023年3月27日）



第169期首：3,970円

第174期末：3,671円（既払分配金（税込み）：90円）

騰落率：△ 5.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2022年9月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の利子収入が基準価額にプラスに寄与しました。

<下落要因>

組入銘柄の価格下落（利回り上昇）が基準価額にマイナスに寄与しました。また、ブラジルレアルが対円で下落したことが、マイナスに働きました。

投資環境について

【債券市況】

当作成期のブラジル債券市場は前作成期末比で下落（利回りは上昇）しました。債券市場は、作成期初から2022年11月中旬まで一定範囲内で推移したのち、ルラ次期大統領（当時）による大幅な歳出拡大を示唆する発言などに伴い11月下旬にかけて下落（利回りは上昇）しました。その後、12月中旬にかけては方向感に欠ける展開となったものの、インフレ率の低下傾向により2023年1月中旬にかけては途中上下動を見せながらも上昇（利回りは低下）傾向となりました。2月上旬にかけては財政政策の先行き不透明感を背景に下落（利回りは上昇）傾向となったのち、インフレ率の急速な低下から作成期末にかけては上昇（利回りは低下）傾向に転じました。

【為替相場】

当作成期のブラジルレアルは円に対して前作成期末比で下落しました。ブラジルレアルは対円で作成期初から2022年10月中旬にかけては堅調に推移しました。11月初旬にかけては方向感に欠ける展開となったのち、2023年1月初旬にかけては途中上下動を見せながらも下落傾向となりました。日本の大規模金融緩和政策が一部修正されたことに伴う円高進行などが下落要因となりました。その後、ブラジルレアルの対円相場は、3月上旬にかけてインフレ率の急速な低下を背景に上昇傾向に転じたものの、作成期末にかけて欧米を中心とした銀行不安に伴う世界的なリスク回避志向の高まりから弱含みました。

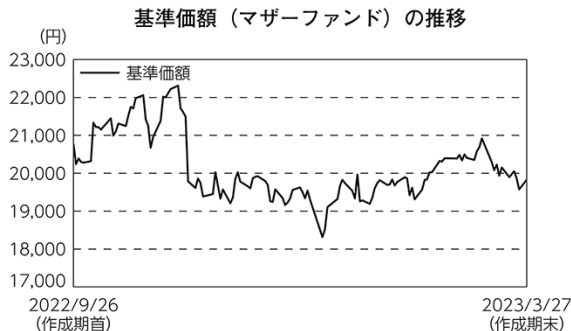
ポートフォリオについて

<HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）>

「ブラジル債券マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資しました。

<ブラジル債券マザーファンド>

残存期間1～5年を中心としたブラジル国債に投資しました。債券種類別には、割引国債の組入比率を33～44%程度、固定利付債は55～66%程度としました。また、キャッシュ比率は0.4～1.1%程度に維持しました。



ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

分配金について

第169期から第174期における分配金は、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、いずれも15円（1万口当たり・税込み）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第169期	第170期	第171期	第172期	第173期	第174期
	2022年9月27日～ 2022年10月25日	2022年10月26日～ 2022年11月25日	2022年11月26日～ 2022年12月26日	2022年12月27日～ 2023年1月25日	2023年1月26日～ 2023年2月27日	2023年2月28日～ 2023年3月27日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.367%	15 0.403%	15 0.404%	15 0.407%	15 0.394%	15 0.407%
当期の収益	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	344	356	363	370	393	405

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

ブラジル中央銀行は2023年3月の金融政策決定会合にて政策金利を13.75%に据え置きましたが、ルラ大統領は「政策金利が13.75%ではこの国が再び成長するのは難しい」と述べるなど中央銀行の金融政策を批判しています。こうしたなか、中央銀行は「中銀の独立性」を断固として守る姿勢を引き続き示しており、政府と中央銀行との関係性について今後、注視していく必要があると考えます。

一方、ブラジル債券市場は中長期的に有望な投資対象との当社の見方に変わりはありません。相対的に高い債券利回りは魅力的であり、またブラジルレアルには引き続き妙味があると考えます。

<HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）>

「ブラジル債券マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<ブラジル債券マザーファンド>

相対的に利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高め維持しています。

金融取引税について

当ファンドにはブラジル政府による金融取引税（IOF）の課税対象となる取引が含まれています。ここでいう金融取引税は日本を含む海外の投資家がブラジル国内のブラジルレアル建債券を購入するために、外貨（日本円、米ドル等）からブラジルレアルに交換する際の「為替取引」に対して課される税金のことです。

ただし、債券を購入するための為替取引に対しては当作成期末現在の課税は0%です。一方、債券の売買、ブラジルレアルから外貨（日本円、米ドル等）への為替取引は一部例外を除き課税されません。

当ファンドを保有される期間中、金融取引税が課税される場合は、受益者の皆さま個人に直接的に課税されるのではなく、投資信託の信託財産に課税されるため、間接的にご負担いただきます。信託財産が増加する場合（投資信託の購入金額の総額が換金金額の総額を上回った場合）、信託財産の増加分をもって、原則、新たにブラジルレアル建ての債券を購入いたします。その際の為替取引に課税されます。信託財産が減少する場合（投資信託の換金金額の総額が購入金額の総額を上回った場合）は新たに債券を購入しないので、一部例外を除き課税されません。そのため、通常受益者の皆さまの実質的な金融取引税の負担額は、金融取引税（IOF）の課税率とは異なります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年9月27日～2023年3月27日)

項 目	第169期～第174期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 32	% 0.850	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(17)	(0.439)	委託した資金の運用の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
（ 販 売 会 社 ）	(15)	(0.384)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.100	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.080)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.017)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	36	0.950	
作成期中の平均基準価額は、3,805円です。			

(注) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

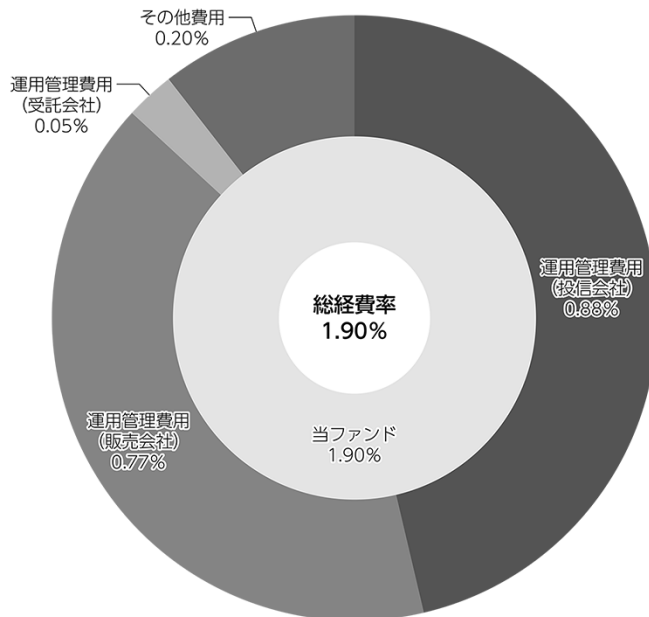
(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年9月27日～2023年3月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第169期～第174期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ブラジル債券マザーファンド	千口 171,034	千円 337,871	千口 701,601	千円 1,437,437

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年9月27日～2023年3月27日)

利害関係人との取引状況

<HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）>
該当事項はございません。

<ブラジル債券マザーファンド>

区分	第169期～第174期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 1,158	百万円 —	% —	百万円 2,298	百万円 13	% 0.6

平均保有割合 98.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

○組入資産の明細

(2023年3月27日現在)

親投資信託残高

銘柄	第168期末	第174期末	
	口数	口数	評価額
ブラジル債券マザーファンド	千口 5,967,523	千口 5,436,955	千円 10,779,308

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年3月27日現在)

項 目	第174期末	
	評 価 額	比 率
ブラジル債券マザーファンド	千円 10,779,308	% 99.9
コール・ローン等、その他	7,678	0.1
投資信託財産総額	10,786,986	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ブラジル債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(10,833,262千円)の投資信託財産総額(10,899,043千円)に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=130.65円、1ブラジルレアル=24.8956円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第169期末	第170期末	第171期末	第172期末	第173期末	第174期末
	2022年10月25日現在	2022年11月25日現在	2022年12月26日現在	2023年1月25日現在	2023年2月27日現在	2023年3月27日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	12,525,610,723	11,151,981,312	11,096,847,718	10,975,862,763	11,245,123,288	10,786,986,801
ブラジル債券マザーファンド(評価額)	12,410,831,781	11,124,750,099	11,080,083,344	10,951,893,323	11,212,952,776	10,779,308,709
未収入金	114,778,942	27,231,213	16,764,374	23,969,440	32,170,512	7,678,092
(B) 負債	177,563,792	90,133,821	79,011,985	85,579,171	95,579,110	67,780,745
未払収益分配金	45,455,599	44,806,309	44,735,835	44,511,345	44,065,019	43,796,790
未払解約金	114,778,942	27,231,213	16,764,374	23,969,440	32,170,512	7,678,092
未払信託報酬	16,835,549	17,101,108	16,046,038	15,187,282	16,935,833	14,436,776
その他未払費用	493,702	995,191	1,465,738	1,911,104	2,407,746	1,869,087
(C) 純資産総額(A-B)	12,348,046,931	11,061,847,491	11,017,835,733	10,890,283,592	11,149,544,178	10,719,206,056
元本	30,303,732,850	29,870,872,704	29,823,890,498	29,674,230,399	29,376,679,915	29,197,860,480
次期繰越損益金	△17,955,685,919	△18,809,025,213	△18,806,054,765	△18,783,946,807	△18,227,135,737	△18,478,654,424
(D) 受益権総口数	30,303,732,850口	29,870,872,704口	29,823,890,498口	29,674,230,399口	29,376,679,915口	29,197,860,480口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,075円	3,703円	3,694円	3,670円	3,795円	3,671円

(注) 当ファンドの第169期首元本額は31,038,995,183円、第169～174期中追加設定元本額は897,018,874円、第169～174期中一部解約元本額は2,738,153,577円です。

(注) また、1口当たり純資産額は、第169期0.4075円、第170期0.3703円、第171期0.3694円、第172期0.3670円、第173期0.3795円、第174期0.3671円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況

項 目	第169期	第170期	第171期	第172期	第173期	第174期
	2022年9月27日～ 2022年10月25日	2022年10月26日～ 2022年11月25日	2022年11月26日～ 2022年12月26日	2022年12月27日～ 2023年1月25日	2023年1月26日～ 2023年2月27日	2023年2月28日～ 2023年3月27日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	379,581,272	△ 1,037,530,461	34,528,564	△ 11,320,880	429,408,888	△ 305,008,377
売買益	392,673,235	13,502,724	39,558,859	1,037,165	433,798,836	826,518
売買損	△ 13,091,963	△ 1,051,033,185	△ 5,030,295	△ 12,358,045	△ 4,389,948	△ 305,834,895
(B) 信託報酬等	△ 17,329,251	△ 17,602,597	△ 16,516,585	△ 15,632,648	△ 17,432,475	△ 13,898,117
(C) 当期損益金(A+B)	362,252,021	△ 1,055,133,058	18,011,979	△ 26,953,528	411,976,413	△ 318,906,494
(D) 前期繰越損益金	△ 4,245,960,656	△ 3,820,612,294	△ 4,881,196,854	△ 4,865,711,263	△ 4,876,265,799	△ 4,474,994,229
(E) 追加信託差損益金	△ 14,026,521,685	△ 13,888,473,552	△ 13,898,134,055	△ 13,846,770,671	△ 13,718,781,332	△ 13,640,956,911
(配当等相当額)	(379,710,725)	(383,088,804)	(387,766,758)	(388,607,488)	(386,488,804)	(385,240,725)
(売買損益相当額)	(△ 14,406,232,410)	(△ 14,271,562,356)	(△ 14,285,900,813)	(△ 14,235,159)	(△ 14,105,270,136)	(△ 14,026,197,636)
(F) 計(C+D+E)	△ 17,910,230,320	△ 18,764,218,904	△ 18,761,318,930	△ 18,739,435,462	△ 18,183,070,718	△ 18,434,857,634
(G) 収益分配金	△ 45,455,599	△ 44,806,309	△ 44,735,835	△ 44,511,345	△ 44,065,019	△ 43,796,790
次期繰越損益金(F+G)	△ 17,955,685,919	△ 18,809,025,213	△ 18,806,054,765	△ 18,783,946,807	△ 18,227,135,737	△ 18,478,654,424
追加信託差損益金	△ 14,026,521,685	△ 13,888,473,552	△ 13,898,134,055	△ 13,846,770,671	△ 13,718,781,332	△ 13,640,956,911
(配当等相当額)	(379,784,396)	(384,037,232)	(388,097,848)	(388,788,872)	(386,623,257)	(385,276,921)
(売買損益相当額)	(△ 14,406,306,081)	(△ 14,272,510,784)	(△ 14,286,231,903)	(△ 14,235,559,543)	(△ 14,105,404,589)	(△ 14,026,233,832)
分配準備積立金	664,394,345	679,528,035	696,080,125	711,457,223	769,027,435	797,916,686
繰越損益金	△ 4,593,558,579	△ 5,600,079,696	△ 5,604,000,835	△ 5,648,633,359	△ 5,277,381,840	△ 5,635,614,199

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第169期計算期間末における費用控除後の配当等収益(94,261,939円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(379,784,396円)および分配準備積立金(615,588,005円)より分配対象収益は1,089,634,340円(10,000口当たり359円)であり、うち45,455,599円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 第170期計算期間末における費用控除後の配当等収益(77,291,505円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(384,037,232円)および分配準備積立金(647,042,839円)より分配対象収益は1,108,371,576円(10,000口当たり371円)であり、うち44,806,309円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 第171期計算期間末における費用控除後の配当等収益(66,451,438円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(388,097,848円)および分配準備積立金(674,364,522円)より分配対象収益は1,128,913,808円(10,000口当たり378円)であり、うち44,735,835円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 第172期計算期間末における費用控除後の配当等収益(65,582,878円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(388,788,872円)および分配準備積立金(690,385,690円)より分配対象収益は1,144,757,440円(10,000口当たり385円)であり、うち44,511,345円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 第173期計算期間末における費用控除後の配当等収益(110,054,590円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(386,623,257円)および分配準備積立金(703,037,864円)より分配対象収益は1,199,715,711円(10,000口当たり408円)であり、うち44,065,019円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 第174期計算期間末における費用控除後の配当等収益(78,113,593円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(385,276,921円)および分配準備積立金(763,599,883円)より分配対象収益は1,226,990,397円(10,000口当たり420円)であり、うち43,796,790円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、14,155,701円です。

○分配金のお知らせ

	第169期	第170期	第171期	第172期	第173期	第174期
1 万口当たり分配金 (税込み)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。

◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。

普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。

元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの部分（特別分配金）は普通分配金となります。元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○お知らせ

ありません。

＜ブラジル債券マザーファンド＞

下記は、ブラジル債券マザーファンド全体(5,493,350千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第174期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジルレアル 477,950	千ブラジルレアル 427,438	千円 10,641,343	% 97.7	% 97.7	% 19.7	% 21.0	% 56.9
合 計	477,950	427,438	10,641,343	97.7	97.7	19.7	21.0	56.9

(注) 邦貨換算金額は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(注) BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第174期末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		債 務		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
ブラジル	%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円			
国債証券	LTN 01/01/2024	—	80,600	73,409	1,827,580	2024/1/1	
	LTN 01/01/2026	—	68,500	49,862	1,241,368	2026/1/1	
	LTN 07/01/2023	—	14,700	14,211	353,802	2023/7/1	
	LTN 07/01/2024	—	44,800	38,659	962,446	2024/7/1	
	NTN-F 10% 01/01/2025	10.0	126,500	122,819	3,057,671	2025/1/1	
	NTN-F 10% 01/01/2027	10.0	45,100	42,162	1,049,654	2027/1/1	
	NTN-F 10% 01/01/2029	10.0	71,700	64,064	1,594,913	2029/1/1	
	NTN-F 10% 01/01/2031	10.0	16,900	14,590	363,232	2031/1/1	
	NTN-F 10% 01/01/2033	10.0	9,150	7,658	190,674	2033/1/1	
合 計					10,641,343		

(注) 邦貨換算金額は、作成期末現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

◆親投資信託「ブラジル債券マザーファンド」の運用状況
第14期（2021年9月22日～2022年9月20日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主にブラジルの債券等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限り、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰	落中率			
10期(2018年9月18日)	円 15,044		% △20.2	% 96.4	% —	百万円 27,009
11期(2019年9月18日)	17,951		19.3	97.4	—	24,320
12期(2020年9月18日)	14,759		△17.8	97.6	—	16,404
13期(2021年9月21日)	14,500		△1.8	97.5	—	12,685
14期(2022年9月20日)	20,885		44.0	97.4	—	12,670

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

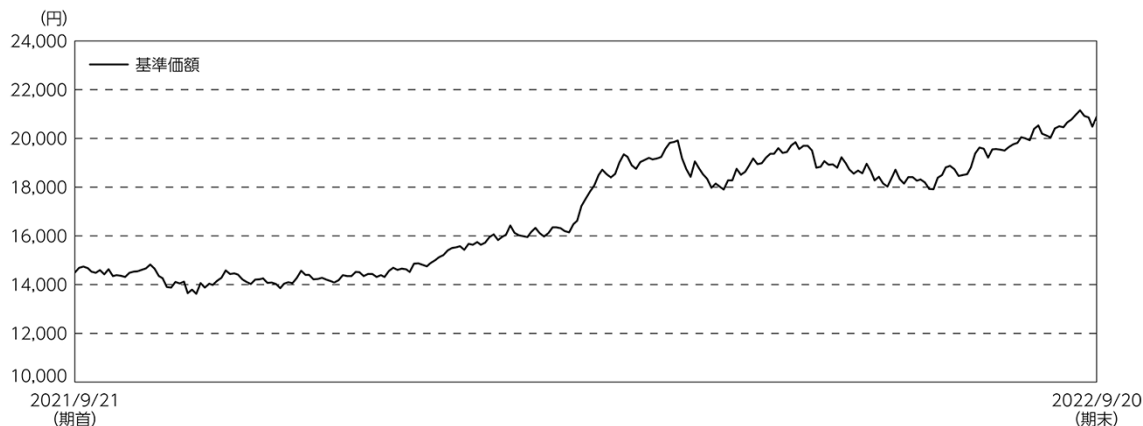
年	月	日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率
				騰 落	率						
	(期 首)		円		%			%			%
	2021年	9月21日	14,500		—			97.5			—
	9月	末	14,591		0.6			98.0			—
	10月	末	13,651	△	5.9			97.1			—
	11月	末	14,092	△	2.8			96.5			—
	12月	末	14,348	△	1.0			96.0			—
	2022年	1月末	15,214		4.9			99.0			—
	2月	末	16,020		10.5			98.3			—
	3月	末	18,402		26.9			98.0			—
	4月	末	19,054		31.4			97.3			—
	5月	末	19,367		33.6			96.7			—
	6月	末	18,963		30.8			96.1			—
	7月	末	18,868		30.1			98.8			—
	8月	末	20,188		39.2			97.6			—
	(期 末)										
	2022年	9月20日	20,885		44.0			97.4			—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について（第14期：2021年9月22日～2022年9月20日）



基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の利子収入が基準価額にプラスに寄与しました。また、ブラジルレアルが対円で大幅に上昇したことが、プラスに働きました。

<下落要因>

組入銘柄の価格下落（利回り上昇）が基準価額にマイナスに寄与しました。

投資環境について

【債券市況】

当期のブラジル債券市場は前期末比で下落（利回りは上昇）しました。債券市場は、期初から2021年10月中旬までは方向感に欠ける動きとなったのち、インフレ率の上昇が加速したことなどから11月初旬にかけて急速に下落（利回りは急上昇）しました。その後、中央銀行が利上げを通じてインフレ抑制に向けて強い姿勢を示したことが市場で好感され、11月下旬から12月下旬にかけて債券市場は上昇（利回りは低下）傾向となりました。債券市場は、2022年2月下旬まで一定範囲内で推移したのち、高水準にあるインフレ率などから3月中旬にかけて下落（利回りは上昇）傾向となりました。その後、4月初旬にかけて債券市場は上昇（利回りは低下）したものの、7月下旬にかけて下落（利回りは上昇）基調となりました。高インフレ、中央銀行による物価重視の姿勢、世界的な成長鈍化懸念などが下落要因となりました。債券市場は、インフレ高進への懸念が和らいだことなどから8月中旬にかけて上昇（利回りは低下）したものの、期末にかけて方向感に欠ける動きとなりました。

【為替相場】

当期のブラジルレアルは円に対して前期末比で大幅に上昇しました。ブラジルレアルは対円で、期初から2022年1月下旬まで方向感に欠ける動きとなったのち、4月中旬にかけて上昇傾向となりました。中央銀行による積極的な利上げ、日米金利差の急拡大などに伴う急速な米ドル高・円安進行の流れを受けたことなどが上昇要因となりました。その後、ブラジルレアルは対円で、7月下旬にかけて一定範囲内で推移したのち、インフレ高進への懸念が和らいだことなどから期末にかけて上昇傾向に転じました。

ポートフォリオについて

残存期間1～5年を中心としたブラジル国債に投資しました。債券種類別には、割引国債の組入比率を21～32%程度、固定利付債は66～78%程度としました。また、キャッシュ比率は0.1～1.3%程度に維持しました。

今後の運用方針

ブラジルでは、ガソリン価格に課している商品流通サービス税（ICMS）の税率引き下げがサンパウロ州で実施されています。こうした措置はインフレ沈静化につながると思われ、債券市場にとりプラス材料になると考えられます。

ブラジル債券市場は中長期的に有望な投資対象との当社の見方に変わりはありません。相対的に高い債券利回り、割安な水準にあるブラジルレアルは魅力的であると考えます。

相対的に利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高め維持しています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年9月22日～2022年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 27	% 0.160	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(27)	(0.160)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	27	0.160	
期中の平均基準価額は、16,896円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2021年9月22日～2022年9月20日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 123,853	千ブラジルリアル 274,073

(注) 金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

○ 利害関係人との取引状況等

(2021年9月22日～2022年9月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 5,380	百万円 —	% —	百万円 10,064	百万円 390	% 3.9

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

○組入資産の明細

(2022年9月20日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	484,500	445,536	12,344,624	97.4	97.4	21.1	35.0	41.3
合 計	484,500	445,536	12,344,624	97.4	97.4	21.1	35.0	41.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(注) BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
			%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
ブラジル	国債証券	LTN 01/01/2024	—	78,470	66,979	1,855,812	2024/1/1
		LTN 07/01/2023	—	75,300	68,119	1,887,403	2023/7/1
		LTN 07/01/2024	—	20,000	16,228	449,651	2024/7/1
		NTN-F 10% 01/01/2023	10.0	38,080	37,657	1,043,384	2023/1/1
		NTN-F 10% 01/01/2025	10.0	134,300	128,892	3,571,274	2025/1/1
		NTN-F 10% 01/01/2027	10.0	33,200	31,274	866,538	2027/1/1
		NTN-F 10% 01/01/2029	10.0	83,100	76,498	2,119,565	2029/1/1
		NTN-F 10% 01/01/2031	10.0	16,900	15,260	422,827	2031/1/1
		NTN-F 10% 01/01/2033	10.0	5,150	4,625	128,165	2033/1/1
合 計						12,344,624	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

○投資信託財産の構成

(2022年9月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	12,344,624	96.5
コール・ローン等、その他	445,499	3.5
投資信託財産総額	12,790,123	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産(12,681,501千円)の投資信託財産総額(12,790,123千円)に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=143.28円、1ブラジルレアル=27.7073円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	12,871,480,048	
コール・ローン等	191,114,851	
公社債(評価額)	12,344,624,475	
未収入金	136,226,733	
未収利息	183,600,130	
前払費用	15,913,859	
(B) 負債	200,855,144	
未払金	81,367,136	
未払解約金	119,487,711	
未払利息	297	
(C) 純資産総額(A-B)	12,670,624,904	
元本	6,066,942,522	
次期繰越損益金	6,603,682,382	
(D) 受益権総口数	6,066,942,522口	
1万口当たり基準価額(C/D)	20,885円	

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

《注記事項》

※期首元本額	8,748,843,965円
期中追加設定元本額	295,475,556円
期中一部解約元本額	2,977,376,999円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額	
HSBC ブラジル債券オープン(毎月決算型)	6,001,932,126円
HSBC ブラジル債券オープン(1年決算型)	65,010,396円

○損益の状況 (2021年9月22日～2022年9月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	1,426,610,558	
受取利息	1,426,641,930	
支払利息	△ 31,372	
(B) 有価証券売買損益	3,196,525,565	
売買益	3,813,604,363	
売買損	△ 617,078,798	
(C) 保管費用等	△ 20,230,410	
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,602,905,713	
(E) 前期繰越損益金	3,936,820,020	
(F) 追加信託差損益金	188,198,655	
(G) 解約差損益金	△2,124,242,006	
(H) 計(D+E+F+G)	6,603,682,382	
次期繰越損益金(H)	6,603,682,382	

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

商号変更について

HSBC投信株式会社は、2021年11月1日付けで、商号を「HSBCアセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。